

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年10月7日)

## 【件名】

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 2
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について  
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 4

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

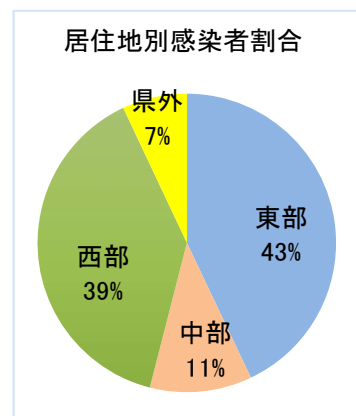
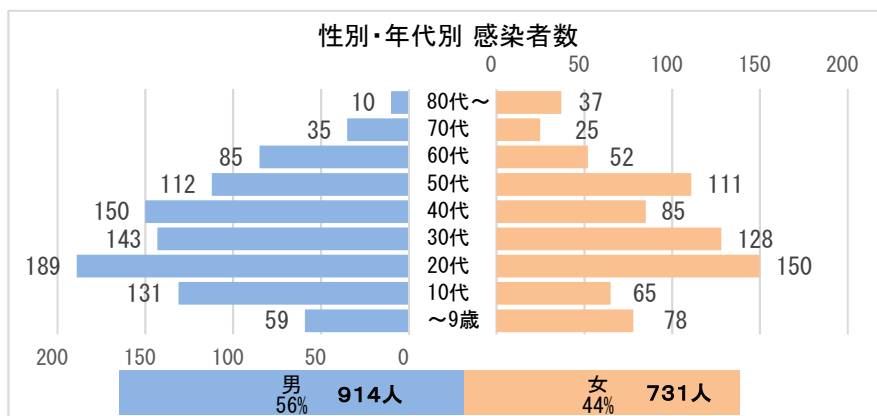
# 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和3年10月7日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

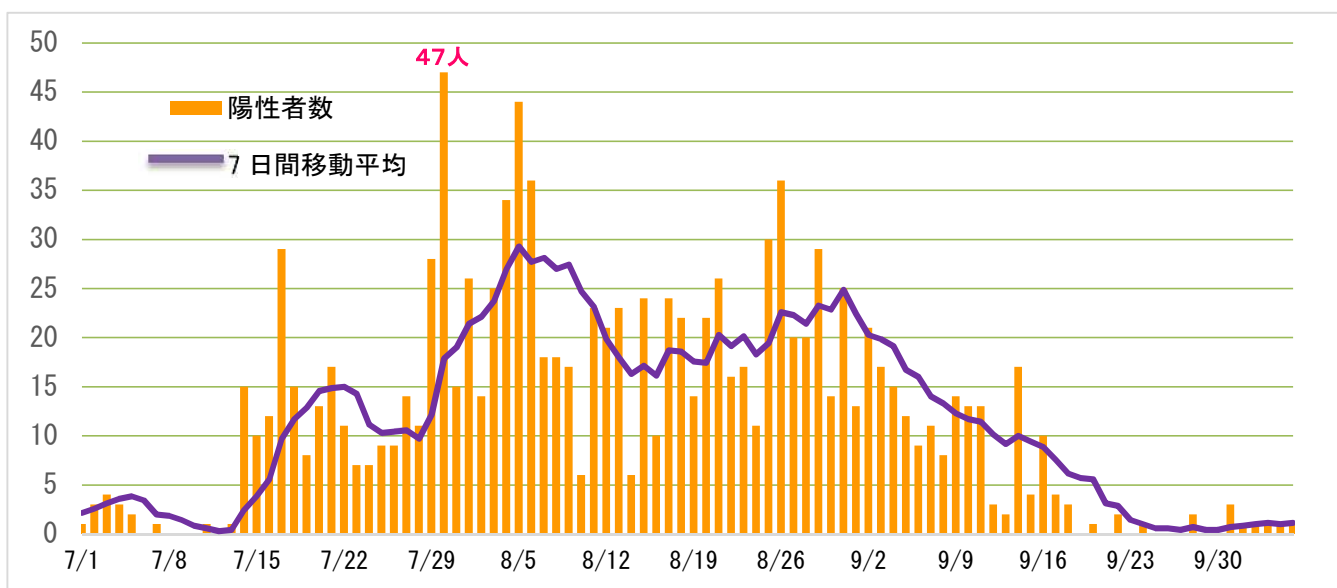
## 1 県内における感染者の発生状況

### (1) 累計感染者数（10月6日現在、発表日ベース）

1,645名（鳥取市保健所 750名・倉吉保健所 192名・米子保健所 703名）



### (2) 感染者数の推移（令和3年7月1日以降）



### (3) クラスター発生状況（令和3年9月15日以降）

9月15日以降発生なし

## 2 変異株スクリーニング検査状況（令和3年7月1日～10月6日）

陽性者公表件数	スクリーニング検査件数(A)	変異株(疑)陽性件数(B)		割合(B/A)	
		N501Y	L452R	N501Y	L452R
1,167	1,099	207	821	18.8%	74.7%
(201)	(193)	(1)	(175)	(0.5%)	(90.7%)

※（ ）内は9月以降の件数

### 【衛生環境研究所におけるゲノム解析実施状況】（令和3年7月1日～10月6日）

解析件数	結果
262件	アルファ株：49件、デルタ株：213件

### 3 各種警戒情報の発令状況（10月6日現在）

(1) デルタ株感染警戒情報・新型コロナ感染増大警戒情報

発令地域なし

(2) 新型コロナ警報

地区	注意報	警報	特別警報
東部	注意報(10/2発令)	-	-
中部	-	-	-
西部	注意報(9/27 警報から移行)	-	-

### 4 医療提供体制（10月6日現在）

(1) 入院受入体制（最大確保病床数）

東部	中部	西部	合計
132床	60床	145床	337床

(2) 宿泊療養体制（宿泊療養部屋数）

東部	中部	西部	合計
139室 (92室)	35室 (35室)	190室 (150室)	364室 (277室)

※（ ）内は現時点入室可能部屋数。

【参考】政府分科会提言指標の状況（10月5日現在）：本県はステージⅡ以下

指標				鳥取県			ステージⅢ 指標目安	ステージⅣ 指標目安
医療提供 体制等の 負荷	①医療の ひっ迫 具合	入院医療	確保病床 使用率	4.2% (14/337床)	東部 1.5% 中部 1.7% 西部 7.6%	20%以上	50%以上	
			入院率 (入院者/療養者)	87.5% (14/16人)	東部 100.0% 中部 100.0% 西部 84.6%	40%以下	25%以下	
		重症者用 病床	確保病床 使用率※	0% (0/47床)	東部 0% 中部 0% 西部 0%	20%以上	50%以上	
			[参考]重症者数	0人	-	-	-	
	②療養者数(対人口10万人) ※県人口55.6万人で計算	2.9人 (実数16人)	東部 0.9人 中部 1.0人 西部 5.6人	20人以上	30人以上			
感染状況 ※9/29～ 10/5発表 分	③PCR陽性率(直近1週間)			0.6% (8/1,447)	-	5%以上	10%以上	
	④新規陽性者数(対人口10万人/週)			1.4人 (実数8人)	東部 1.8人 中部 0.0人 西部 1.7人	15人以上	25人以上	
	⑤感染経路不明割合(直近1週間)			50.0% (4/8人)	-	50%以上	50%以上	

※ 重症者以外が重症者用病床を使用している場合も含む。

# 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和3年10月7日  
新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

## 1 鳥取県へのワクチンの供給状況(10/3時点)

ファイザー社	モデルナ社	アストラゼネカ社	合計
810,030	106,000	100	916,130

⇒鳥取県 12歳以上の接種対象人口に対して9割以上の充足率

## 2 接種の状況(10/3現在)

### (1) 接種の状況

年代	人口	接種回数	うち1回目	うち2回目
全年代	556,788人	763,802回	404,734回	359,068回
65歳以上高齢者	178,268人	319,667回	160,726回	158,941回
65歳未満	378,520人	444,135回	244,008回	200,127回

### (2) 年代別接種状況

年代	1回目	2回目	合計	対象人口 (住基本人口)	1回目接種率	2回目接種率
0～11歳	—	—	—	54,489人	—	—
12～19歳	24,676回	17,424回	42,100回	40,663人	60.7%	42.8%
20代	30,384回	23,169回	53,553回	47,353人	64.2%	48.9%
30代	38,301回	29,109回	67,410回	58,234人	65.8%	50.0%
40代	54,678回	43,302回	97,980回	74,205人	73.7%	58.4%
50代	54,589回	47,497回	102,086回	66,546人	82.0%	71.4%
60代	68,651回	66,713回	135,364回	78,780人	87.1%	84.7%
70代	69,213回	68,418回	137,631回	74,402人	93.0%	92.0%
80代以上	56,949回	56,214回	113,163回	62,116人	91.7%	90.5%
不明	7,293回	7,222回	14,515回	—	—	—
合計	404,734回	359,068回	763,802回	556,788人	72.7%	64.5%
接種対象人口				502,299人	80.6%	71.5%

※母集団となる人口データは、総務省 Web サイトの「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」で公開されている【総計】令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(市町村別)」を利用

※接種数は「内閣官房 IT 総合戦略室」のデータを集計

## 3 県が設置する臨時接種会場

市町村が実施するワクチン接種を後押しし、接種を加速させるため、若者をはじめ多くの県民が接種に行きやすい土日に県営の臨時集団接種会場を再度開設している。

### (1) 県営接種会場の概要

ワクチン	モデルナ社製ワクチン	アストラゼネカ社製ワクチン
会場	新日本海新聞社 5F ホール (鳥取市)	新日本海新聞社 5F ホール (鳥取市)
日程	9/25(土)～11/7(日) 計8回 (予約状況等を踏まえ予備日も検討)	9/25(土)～11/28(日) 計4回 (予約状況等を踏まえ予備日も検討)
対象者数	1日あたり360人程度	1日あたり50人程度
対象者	12歳以上の鳥取県民	①②③のいずれかに当てはまる鳥取県民 ①ポリエチレングリコール(PEG)アレルギーがある18歳以上の方 ②アストラゼネカ社製ワクチンを既に1回接種している18歳以上の方 ③接種を希望される40歳以上の方
優先枠等	・若年層(12歳以上40歳未満)とその同居家族(各日30名程度) ・妊娠中の方とその同居家族(各日20名程度) ・予約なし接種も実施(各日50名)	・上記①②の方 ・妊娠中の方とその同居家族(40歳以上)(各日計20名程度)

(2) 接種実績 (10/3 時点)

ワクチンの種別	接種状況 (1回目)	内 訳				
		一般枠	優先枠			予約なし接種
			若年層	妊婦等	アレルギー等	
モデルナ社製	177人	86人	41人	6人		44人
アストラゼネカ社製	21人	17人	—	—	4人	—

※一般枠を含めると全体の約6割が12～39歳までの若年層である。

4 職域・大学等における接種

ワクチン接種に関する市町村の負担を軽減し、加速化を図っていくため、企業や大学等において職域（学校を含む）単位で武田/モデルナ社製ワクチンの接種を行うことが可能とされ、県内でも6月21日から職域接種を開始した。

(1) 接種実績 (10/3 時点)

対象人数 (34 団体)	1 回目	2 回目
73,400 人 (うち一般開放枠 24,955 人)	46,977 人	30,654 人

(2) 一般開放枠における優先枠等予約・受付状況

予約なし	優先枠に対する予約状況				
	寮生	妊婦等	子ども	親子	学生
753 人	93 人	36 人	15 人	36 人	18 人

※優先枠の予約実績については、県で接種実施団体に聞き取りを行った数字。

5 ワクチン接種の促進に向けた取組

(1) 市町村間の連携

- ① ワクチンに余剰が生じそうな市町村が他市町村の接種希望者の予約を受付
- ② ワクチンの余剰が生じた市町村から不足する市町村へ県が仲介し融通調整

(2) 鳥取型職域接種推進プロジェクト

職域接種の国承認が遅れたことにより市町村の集団接種予約がオーバーフローしないよう、企業、市町村等と連携して職域接種会場の空き状況を紹介するなどワクチン接種を促進。

(3) 職域接種の一般県民への開放

職域接種の予約枠を一般県民に開放し、「職域接種ワクチン予約相談センター」を設置して県民からの予約相談に応じ、空き状況の情報提供や予約の仲介を行うなどして接種を促進。  
※職域接種の一般開放枠の中に、妊娠中の方、親子連れの方、12歳以上のこども、受験生及び就活生の方の優先枠、予約なしでの接種枠等も設定。

(4) 情報提供の促進

特に若者世代への影響力のある方を活用した動画配信や SNS 等インターネット媒体を活用した情報発信などにより、誤情報に惑わされず正しい情報によりワクチン接種を検討いただくよう情報を提供している。

6 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について

(1) 報告件数

区 分	鳥取県 (10月3日現在)			全国 (9月12日現在)		
	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
ワクチンの種類	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
推定接種者数 (回分)	687,452回	76,336回	14回	122,789,441回	23,447,233回	29,025回
副反応疑い件数	54件 (0.008%)	3件 (0.004%)	0件 (0.000%)	22,712件 (0.018%)	2,886件 (0.012%)	0件 (0.000%)
うち死亡報告数	9件 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	1,157件 (0.001%)	33件 (0.000%)	0件 (0.000%)
うちアナフィラ キシー報告数	15件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	2,262件 (0.002%)	362件 (0.002%)	0件 (0.000%)

## (2) 本県における死亡事例について

(注) 副反応疑い報告での死亡事例については、ワクチン接種による死亡事例の報告ではなく、ワクチン接種後の死亡事例の報告ということであり、必ずしもワクチン接種が原因ではないということに留意が必要。

- ・接種後に被接種者に生じたとして報告される疾病や症状には、ワクチンとの因果関係が明らかなもの、不明なもの、他の原因によるものが混在する。
- ・通常、予防接種と関係なく様々な疾病・症状が発生していることから、ワクチンとの因果関係がなくても、接種後にこうした疾病・症状が起きることがある。
- ・特に高齢者は様々な疾病が発生・重症化しやすいことから、接種後にたまたまそうした疾病が発症・重症化することがある。多人数に接種を行った場合は、そうした報告の件数が増える可能性がある。

	年齢	性別	接種から死亡までの期間	ワクチンの種類と回数	死因等（報告者による見解・考察等）
1	90歳代	女	当日	ファイザー（1回目）	急性大動脈乖離等を疑う所見を認め、直接的な死因と考えられる。ワクチンとの因果関係は不明。関連性は否定できないと判断。
2	70歳代	女	2日後	ファイザー（1回目）	心不全で加療中であり、基礎疾患が関連している可能性もある。詳細は不明。コロナワクチン接種日が近いと関連は否定できない。
3	80歳代	女	1日後	ファイザー（2回目）	精査困難のため、ワクチンとの因果関係は不明。環境による熱中症の可能性が高い。
4	80歳代	男	1日後	ファイザー（1回目）	他要因の可能性有。（逆流、嘔吐、誤嚥（注入食））
5	90歳代	女	10日後	ファイザー（2回目）	他要因の可能性有。（急性冠症候群の疑い）
6	60歳代	女	9日後	ファイザー（2回目）	糖尿病性腎不全で加療中。詳しい情報は不明。他要因の可能性有。
7	80歳代	女	15日後	ファイザー（2回目）	因果関係が否定できない。基礎疾患があり、高齢でもあるため、それ自体が急変リスクとも考えられる。
8	80歳代	女	3日後	ファイザー（2回目）	基礎疾患があり、これらが死因へ関与している可能性が高い。
9	70歳代	男	45日後	ファイザー（1回目）	接種2日後から重度の息切れ等の症状有。死因は肺動脈血栓塞栓症。

### (国の審議会での評価)

- ・現時点ではワクチン接種との因果関係があると結論づけられた事例はない。
- ・ワクチンについては、引き続き、安全性において重大な懸念は認められない。